

2026 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工芸科学部/工芸科学部 : /School of Science and Technology/School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/有/有 : /Available/Available
学域等/Field	/全学共通科目/全学共通科目 : /Program-wide Subjects/Program-wide Subjects	年次/Year	/1年次/1年次 : /1st Year/1st Year
課程等/Program	/基盤教養科目/人間教養科目(2023年度以前入学者) : /Liberal Arts/Liberal Arts(Course for students enrolled before 2023 academic year)	学期/Semester	/前学期/前学期 : /First term/First term
分類/Category	//基本教養 : //Foundations in Liberal Arts	曜日時限/Day & Period	/集中 : /Intensive

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	10119905			
科目番号 /Course Number	10160266			
単位数/Credits	1			
授業形態 /Course Type	講義・演習 : Lecture/Practicum			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	感性の実践哲学（リベラルアーツ・ゼミナール） : Practical Philosophy of Sensitivity (Liberal Arts Seminar)			
担当教員名 / Instructor(s)	/(桑子 敏雄) : KUWAKO Toshio			
その他/Other	インターンシップ実施科目 Internship	国際科学技術コース提供科目 IGP	PBL 実施科目 Project Based Learning	DX 活用科目 ICT Usage in Learning
			○	
	実務経験のある教員による科目 Practical Teacher	○	国交省、農林水産省、環境省などの業務に従事した経験から社会貢献のための組織、一般社団法人コンセンサス・コーディネーターズを設立し、現在も国交省、宮崎県、島根県隠岐の島町などの公共事業にアドバイザー、コーディネーターとして活動している。	
科目ナンバリング /Numbering Code				

授業の目的・概要 Objectives and Outline of the Course	
日	<p>本授業は講義である。この講義は、フィールドワークと組み合わせて実施する。現場に身を置くフィールドワーク、資料・情報収集を一人で行うデスクワーク、チームで行うテーブルワーク、さらにコロナ禍でのリモートワーク（対面ができない場合）という学びの方法を複合することによって、京都という地域空間のもつ多様な価値を掘り下げ、また、授業の出席者全員で共有すること</p> <p>環境からの刺激を受け止め、解釈し、さらに環境に創造的に作用する能力を「感性」と捉えることができるとすれば、京都という地域空間の構造と履歴には、この地に</p>
英	

学習の到達目標 Learning Objectives	
日	-
英	

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)	
日	
英	

授業計画項目 Course Plan			
No.		項目 Topics	内容 Content
1	日	①フィールドワークの準備	・参考文献（別途教員から指示）の事前学習 ・グループ結成 ・フィールドワーク、ワークショップ、プレゼンテーションについて講義
	英		
2	日	②フィールドワーク（オンラインの場合は GoogleEarth3D を利用）	・現地を見学、質疑応答等
	英		
3	日	③フィールドワークの総括	・フィールドワークで得た視点について講師から解説 ・プレゼンテーションのテーマを各自考察
	英		
4	日	④グループワーク	・グループでのプレゼンテーションのテーマの話し合い ・プレゼンテーションに向けて更に文献、インターネット等で学習
	英		
5	日	⑤グループワーク	・プレゼンテーション用のパワーポイントを作成 ・プレゼンテーションに向けての準備を行う
	英		
6	日	⑥グループ・プレゼンテーション	・グループでプレゼンテーションを行う
	英		
7	日	⑦総合討論・講評	・それぞれのグループ・プレゼンテーションについて意見、感想等交換する ・グループ・プレゼンテーションについて講師から講評を行う
	英		
8	日	⑧個人レポートの作成	・フィールドワーク、グループ・プレゼンテーションを通じて学んだことを各自レポート作成
	英		
9	日		
	英		
10	日		
	英		
11	日		
	英		
12	日		
	英		
13	日		
	英		
14	日		
	英		
15	日		
	英		

履修条件 Prerequisite(s)	
日	特になし
英	

授業時間外学習（予習・復習等） Required study time, Preparation and review	
日	京都の歴史について学んでおく 本講義に対しては、36時間の予復習に充てる自己学習時間が必要である。
英	

教科書／参考書 Textbooks/Reference Books	
日	プリントを用意します。
英	

成績評価の方法及び基準 Grading Policy	
日	授業への参加態度およびレポート
英	

留意事項等 Point to consider	
日	2016年度以前入学の学生は「リベラルアーツ・ゼミナール7（感性の実践哲学）」と読替えられる。 集中講義日：8月18日（火）と8月19日（水）です。
英	